

生物基礎

1. 学習の到達目標

- (1) 生物や生物現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てる。
- (2) 観察や実験を行い、基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。

2. 使用教科書：生物基礎（東京書籍）

3. 指導計画

学期	単元／学習のねらい		学習事項
前期前半	4月	第1章 生物の特徴 1. 生物の多様性と共通性	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の多様性と共通性の由来 ・生物の共通性（生物の基本的な特徴） ・生物の共通構造（細胞） ・生命活動とエネルギー ・代謝と酵素 ・光合成 ・呼吸 ・光合成と呼吸によるエネルギーの流れ ・ミトコンドリアや葉緑体の由来
	5月	2. エネルギーと代謝 3. 光合成と呼吸	
	6月	第2章 遺伝子とのはたらき 1. 遺伝情報とDNA 【前期中間考査】	
前期後半	7月	2. 遺伝情報の発現	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝情報を担う物質（DNA） ・DNAの構造
	8月	3. 遺伝情報の分配	
	9月	第3章 生物の体内環境 1. 体液という体内環境 【前期期末考査】	
後期前半	10月	2. 腎臓と肝臓 3. 神経とホルモンによる調節 4. 免疫	<ul style="list-style-type: none"> ・腎臓と肝臓の役割 ・腎臓のはたらき ・肝臓のはたらき ・神経による調節（自律神経系） ・ホルモンによる調節（内分泌系） ・自律神経とホルモンによる調節 ・免疫とは ・自然免疫 ・免疫と病気 ・植生とその成り立ち ・腎臓のはたらき ・腎臓と肝臓の分業と協同 ・物理的・化学的防御 ・獲得免疫
	11月	第4章 植生の多様性と分布 1. さまざまな植生 【後期中間考査】	
	12月	植生について、その構造や、遷移とそのしくみについて学習する。さらに、地球上にはさまざまなバイオームが見られること、どのようなバイオームが分布するかは主に気温と降水量によって決まることを、世界と日本のバイオームを取り上げて学習する。	
後期後半	1月	2. 植生の遷移 3. 気候とバイオーム	<ul style="list-style-type: none"> ・植生の遷移 ・遷移のしくみ ・世界のバイオームとその分布 ・日本のバイオームとその分布 ・遷移の過程 ・気候とバイオーム
	2月	第5章 生態系とその保全 1. 生態系	
	3月	2. 物質循環とエネルギーの流れ 3. 生態系のバランス 4. 人間活動と生態系の保全 【後期期末考査】	

4. 評価基準と方法

【評価基準】

- ①自然事象への関心・意欲態度
- ②科学的な思考
- ③観察・実験の技能・表現
- ④自然事象についての知識・理解

【評価方法】

定期考査、小テスト、提出課題および提出状況、実験レポート、学習活動への取り組みかた